

将来なりたい職業について考えました！

菅尾小学校4年生は、10月1日（木）、特別活動の授業で「将来なりたい職業」について考えました。すると、子どもたちは、知らず知らずのうちに職業を男女というフィルターで色分けしてしまっていることが見えてきました。言い換えれば、自分に合った職業選択の可能性をイメージだけで狭くしているということにつながります。

そこで、10月5日（月）に、大工の「はぐくみ先生」合澤夕貴さんに職業講話をしていただきました。子どもたちは、子どもの頃からの夢を叶えた合澤さんの話を聞いて、大工という仕事にも出合えたとし、職業に対する見えないフィルターに気づき、選択の幅(可能性)を広げていったようです。



【4年生児童の感想】

- 合澤さんの話を聞いて、さしがねやかんな等の道具を見せてもらいました。すごい、本物だと思いました。持ってみたら、すごく重かったです。大工をしている合澤さんはとてもかっこいいと思いました。
- さしがねでいろんな角度がはかれるのにびっくりしました。ベルトをつけた時も重かったけど、道具を入れたらさらに重たくなり、後ろに倒れそうになりました。
- あんなにいろんな大工の道具があるんだなと思いました。さしがねがあんなにいっぱいいろんな場所で使われているということにもびっくりしました。また、男女関係なく仕事ができるんだなと思いました。
- 大工は、男の人がやるイメージだったけど、男女関係ないと思いました。大人になって、男女関係なく(仕事を)選びたいと思いました。また、重たいベルトを1日中つけているなんてすごいいいと思いました。
- 合澤さんは、大工は自分の手で創り上げられるので楽しいと言っていました。また、私は、かなんとか知らなかったけど、どんなものかわかって良かったです。
- 私は、最初男の人のイメージしかなかったけど、女の人がやっているなんてびっくりしました。また、いろんな道具があり、中にはあぶない道具もあってびっくりしました。暑い日も寒い日もがんばってやっています。すごいいいと思いました。
- 大工さんは男性というイメージがあったけど、合澤さんの話を聞いて、男女関係なく好きな仕事をやって良いということがわかりました。合澤さんは、保育園の頃から大工の仕事をやりたいて思っていたと聞いてびっくりしました。

